

事業番号	04 10 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	悩みや困難を抱える子どもと女性を守るための対策事業	部局	県民文化部	課・室	こども・家庭課				
		実施期間	こども若者局		児童相談・養育支援室				
			不明	～	E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり								

1 現状と課題

- ・児童相談所の児童虐待相談対応件数が令和3年度は2,651件となっており、前年度より減少したものの、依然として高水準にある。
- ・子どもが家庭的な環境で暮らせるよう里親委託を推進する必要があるが、里親等委託率は年々上昇しているものの、令和3年度末で21.8%にとどまっている。
- ・令和3年度DV相談件数は1,819件となっており、前年度より減少したものの、依然として高水準にある。
- ・こうした状況に対応するため、悩みや困難を抱える子どもと女性を守るための事業を実施する必要がある。

2 事業目的

- ・子どもの最善の利益を実現するため、児童虐待を防止するとともに、社会的養護を必要とする子どもについては可能な限り家庭的な環境で養育が受けられるよう里親委託等社会的養育を推進する。
- ・悩みや困難を抱える女性を守るため、DV防止に努めるとともに、被害者を支援する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ① 長野県社会的養育推進計画（里親委託）の積極的な推進
 - ・里親制度に関する正しい理解を促進し、里親のなり手を確保するための大規模な広報啓発を実施
 - ・乳児院が行う包括的里親支援業務の委託による乳幼児里親委託の推進
 - ・児童相談所が中心となり、市町村・施設等と協働・連携し、里親養育支援の体制等を充実
- ② 児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応
 - ・子ども家庭支援ネットワークの構築により子育て家庭を切れ目なく支援
 - ・児童家庭支援センターの設置により、住民のための相談支援体制を強化
 - ・専門職員を計画的に増員し、児童相談所の相談・支援体制を強化
- ③ 施設等を退所する児童の自立支援の推進
 - ・児童養護施設等退所者アフターケア促進事業による支援
 - ・未成年後見人支援事業による未成年者の権利擁護
- ④ 第5次長野県DV防止基本計画の推進
 - ・長野県児童虐待・DV24時間ホットラインによる相談体制の強化
 - ・適切な支援へつなぐため、福祉事務所等へ女性相談員を配置

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	措置児童数に占める里親等委託児童数の割合	%	20.3	21.8	↗	19.6	↘	21.5	未達成	長野県社会的養育推進計画（R2.6策定）において、R6年度末の里親委託率を23.8%にすることが長期目標。その目標値から1年あたりの伸び率を1.2ポイントとし、R4年度の目標値を設定した。	
②	女性相談員配置市数	市	14	14	→	18	↗	16	達成	第5次長野県配偶者からの暴力の防止及び被害者のための支援基本計画（R3.6策定）において、R7までに全市に女性相談員を配置することが目標。その目標値から、初年度2市、以降毎年1市増の目標値を設定した。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	6,078	1,008,985	160,838	1,175,901	421,507	1,023,260	170.0
R3年度	0	1,120,955	△ 392,030	728,925	406,152	602,365	149.6
R2年度	383,093	848,842	151,094	1,383,029	421,471	1,299,815	135.6

事業番号	04 10 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	悩みや困難を抱える子どもと女性を守るための対策事業	部局	県民文化部子ども若者局	課・室	子ども・家庭課児童相談・養育支援室	

6 主な取組実績と成果

① 長野県社会的養育推進計画（里親委託）の積極的な推進

- ・3歳未満児を中心に児童相談所の取組徹底を図り、3歳未満児は里親等委託率が向上。（R4年度末速報33.3%（+2.2p））
- ・重大被措置児童虐待検証報告書（R4年3月）を踏まえ、訪問等による養育の把握・支援に努めた。
- ・大規模な広報啓発を実施し、里親への理解促進や潜在的ななり手確保を図った。（仮設HPアクセス数 2か月間・約2万回）



② 児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応

- ・社会的養育推進に関する研修会を開催し、市町村子ども家庭総合支援拠点設置等の地域の予防的支援体制（子ども家庭支援ネットワーク）構築の推進を図った。
（研修会2回開催・延べ195人参加、子ども家庭総合支援拠点設置市町村[R4.4.1]42市町村→[R5.4.1]57市町村）
- ・新たに1か所の児童家庭支援センターへの補助を行い、6か所のセンターで延べ7,685回（+1,728）の相談対応を行った。

③ 施設等を退所する児童の自立支援の推進

- ・児童養護施設等退所者アフターケア促進事業や自立支援担当職員の配置により施設等を退所した児童等の支援を行った。
- ・措置中の児童3人（継続2人、開始1人）について未成年後見人の選任等を支援した。

④ 第5次長野県DV防止基本計画の推進

- ・研修会開催等により市での女性相談員の配置を推進するとともに、県及び圏域のネットワーク会議を開催して連携を強化。
- ・長野県児童虐待・DV24時間ホットラインの開設により夜間・休日でも相談を受付。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	措置児童数に占める里親等委託児童数の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
委託を推進する中で相対的に養育が難しい児童の委託が増えたり、訪問等による里親の養育状況の把握・支援にこれまで以上に力を入れた結果、措置先の見直しにより委託解除となる件数が例年より多く、里親等委託率の低下（21.8%→19.6%）につながった。							
指標②	女性相談員配置市数	R3年度推移	→	R4年度推移	↗	達成状況	達成
研修会や会議等による働きかけの結果として、新たに4市で女性相談員が配置され、県女性相談センター等と連携の上、県内19市中18市で女性相談員がDV等の相談に応じている。残り1市においても令和5年度に相談員を配置する予定。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

（里親等委託推進関係）

- ・引き続き、3歳未満の乳幼児を中心に、短期的に実家庭での生活が見込めない場合は、里親等委託の推進を図る。
- ・包括的里親支援事業の乳児院への委託等により、民間の資源等を活用し、新たな里親を開拓するとともに、地域ごとに里親養育支援の体制強化を推進する。

（第5次長野県DV防止基本計画の推進）

- ・引き続き、県女性相談センター等を中心に、関係機関の連携を深め、DV防止に関する支援体制の構築を図る。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

（里親等委託推進関係）

- ・児童相談所関係の会議において、乳幼児の家庭養育の重要性を踏まえ、委託の取組を着実に進め、さらには徹底を図る。
- ・研修や事例検討等の機会を通じ、里親養育を支援する職員等の知識や養育支援の能力向上を図り、里親養育がより質の高いものとなるよう取り組む。

（第5次長野県DV防止基本計画の推進）

- ・困難な問題をかかえる女性への支援に関する法律の成立も踏まえ、引き続き、関係機関の連携強化を推進する。

事業番号	04 10 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	悩みや困難を抱える子どもと女性を守るための対策事業		部局	県民文化部子ども若者局	課・室	子ども・家庭課児童相談・養育支援室

細事業No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	女性保護事業		65,364 千円	52,938 千円	49,752 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	女性相談センターの管理、運営	直接	女性の各般にわたる諸問題の相談、指導助言を行った。 相談件数：1,972件		
2	女性保護	委託	福祉施設等に委託し、婦人相談所以外への一時保護委託や、緊急避難支援による保護委託を行った。 保護委託（本人）：延べ98人		

細事業No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	児童福祉施設整備事業		661,775 千円	21,337 千円	382,774 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	児童福祉施設の整備	補助金	小規模グループケア化や家庭的な環境の中での養育等を推進するため、児童養護施設及び地域小規模児童養護施設の改築に対する費用を補助した。 補助件数：2件 補助額：357,163千円		
2	社会福祉施設エネルギーコスト削減促進事業	補助金	社会福祉施設の省エネ・再エネ設備の導入に要する経費を補助した。 補助件数：12件 補助額：25,611千円		

細事業No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	児童虐待防止強化事業		14,287 千円	15,589 千円	16,048 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	児童虐待防止対策研修事業	直接委託	児童虐待に関わる市町村職員、児童相談所職員、施設職員を対象とし、必要な知識及び技術を習得するための研修を実施した。 延べ研修参加者数：774名		
2	児童虐待・DV24時間ホットライン	委託	（公社）長野県社会福祉士会に委託し、児童虐待及びDVに関する通告・通報及び相談を24時間365日受け付けた。 受付相談数：1,475件		

細事業No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	家庭福祉相談事業		27,305 千円	28,929 千円	31,018 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	母子・父子自立支援員、女性相談員の配置	直接	保健福祉事務所に母子・父子自立支援員（10名）及び女性相談センターに女性相談員（2名）配置し、ひとり親家庭やDV被害者等の女性に対する相談・支援を実施した。 受付相談数：1,093件		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	子ども支援センター運営事業	9,655 千円	8,668 千円	9,109 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	子どもの総合相談窓口の運営	直接	子どもからの相談や保護者、学校・施設関係者等からの子ども・子育てに関する相談に対応した。 相談件数：1,010件	
2	子ども支援委員会の開催	直接	子ども支援委員会を開催し、子どもの人権侵害の救済申出案件の調査・審議、相談対応への助言等を行った。 開催数：4回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業	40,807 千円	18,160 千円	29,974 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	社会福祉施設等感染拡大防止対策事業	直接 補助金	感染防止のための衛生用品および感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費等に対する補助を実施した。 補助件数：21件	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	児童相談所費（児童相談所運営費、一時保護所運営費）	163,316 千円	161,430 千円	185,780 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	児童相談所運営費	直接	児童福祉についての相談、調査、判定及び指導を行った。 相談対応件数：5,991件	
2	児童一時保護所運営費	直接 委託	児童相談所長が必要と認めた児童の一時保護の実施又は委託を行った。 一時保護児童数（年度中に保護解除となった実児童数）：748人	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	波田学院運営費	91,706 千円	73,446 千円	73,250 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	波田学院運営費	直接	・入所者の入退所、自立支援、施設設備の維持管理 ・ユニットバス改修工事（しらかば寮）実施 R4.4.1時点入所児童数：8名	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
9	松本あさひ学園運営費	199,038 千円	190,165 千円	193,205 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	施設業務及び施設設備管理に関する業務	指定管理	入所者の入退所、心理学的治療・生活指導、施設設備の維持管理に関する業務を指定管理者に委託した。（指定管理者：長野県社会福祉事業団） R4.4.1時点入所児童数：13名	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
10	里親委託推進事業	5,653 千円	5,889 千円	16,805 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	里親委託業務及び普及啓発	直接委託	正しい里親制度に関する理解の促進と里親のなり手の確保、里親養育の質を確保するための研修を実施した。 新規里親登録者数：30世帯	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
11	新たな社会的養育推進事業費	20,777 千円	25,654 千円	24,199 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	乳児院による包括的里親支援事業	委託	乳幼児の里親委託等を推進するため、乳児院（2か所）に包括的里親支援事業を委託し、リクルート活動を含む養育里親への包括的な養育支援の体制強化を図った。 年度末時点：養育支援の対象養育里親数 36家庭 委託されている児童数16人	
2	予期せぬ妊娠に悩む妊婦等支援事業	委託	うだみなみ乳児院に委託し、予期せぬ妊娠に悩む妊婦等に対し、医療機関、市町村等と連携して支援を実施した。 支援件数：278件	
3	児童養護施設退所者アフターケア促進事業	補助金	退所者に対する各施設によるアフターケアの取組を支援した。 施設数：3施設 対象者：6人	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
12	子ども家庭支援ネットワーク普及促進事業	132 千円	160 千円	105 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	研修開催事業	直接	・「社会的養育推進研修会」をテーマに、西日本こども研修センターあかしセンター長 藤林武史氏 を講師とし研修会を実施した。（R4.7.25開催） ・児童相談所単位にモデル市町村（計10）を指定するなど、地域単位で子ども家庭総合支援拠点の設置促進等に努めた。 研修会参加者数：264名	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
13	児童養護施設等価格高騰対策支援事業	0 千円	0 千円	11,241 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	児童養護施設等価格高騰対策支援事業	交付金	児童養護施設等に対して光熱費・食材費・ガソリン代の価格高騰分の一部を助成した。 支援施設数：32施設	